



2023年12月7日

各 位

住 所 石川県白山市福留町370番地
会 社 名 株式会社ウイルコホールディングス
代 表 者 の 代 表 取 締 役 社 長 若 林 圭 太 郎
職 氏 名
(コード：7831 東証スタンダード)
問 い 合 わ せ 先 取 締 役 大 槻 健
電 話 番 号 076-277-9831

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2022年12月12日に公表いたしました2023年10月期通期連結業績予想を修正することといたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年10月期通期連結業績予想数値の修正（2022年11月1日～2023年10月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
前回発表予想（A）	10,000	100	100	100	4.07
今回修正予想（B）	8,816	△214	△213	△227	△9.23
増減額（B－A）	△1,184	△314	△313	△327	
増減率（％）	△11.8	－	－	－	
（ご参考）前期実績 （2022年10月期）	9,033	62	132	113	4.61

2. 修正の理由

売上高につきましては、情報・印刷事業にあっては、デジタル印刷を中心とするECサイトからの受注はリピートを中心に底堅く推移しました。しかし、社会経済活動の正常化に伴い、顧客における販促活動は回復傾向にはあるものの、フリーペーパーやチラシ等の受注は減少しました。知育事業にあっては、出版部門は当期も課題図書に選定された書籍の売上高が伸びるとともに長年蓄積してきた絵本コンテンツの著作権販売ビジネスが大きく伸長しました。幼保部門はコロナウイルス対策関連商品の需要一巡、幼保園の園児数の減少、更には、新しいヒット商品の投入が出来なかった等により売上が大幅に減少しました。通信販売事業にあっては、アウトバウンドによるフォローを積極的に進めましたが、新商品の開発・投入が遅れたこと等により新規顧客獲得数が伸び悩みました。これらの結果、当初予想を1,184百万円下回る予想です。

利益面につきましては、情報・印刷事業にあっては、数次にわたる印刷用紙やインキ価格の値上げ、電力費等のエネルギーコストの高騰への対応として製品価格は正交渉を鋭意進めましたが、全体需要が減少する中での交渉であったことやコスト上昇と価格改定の間にタイムラグが生じざるを得ないこともあり、コストアップを当期中にカバーするには至りませんでした。知育事業にあっては、コスト削減を図りましたが、幼保部門の売上高減少分を補い切れませんでした。通信販売事業にあっては、レスポンス率の低い媒体への広告投入を抑える一方で成功報酬型の販促施策を進めたことにより、赤字幅が縮小する見込みで

す。その結果、営業利益は当初予想を314百万円、経常利益は313百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は327百万円、それぞれ下回る見込みです。

(注) 上記の予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後のさまざまな要因により予想と異なる結果となる可能性があります。

以上